

# あ・も・じ・ろ・人・立 めだかの学校だより

平成 14 年 5 月 1 日  
第 36 号

学舎：いなさ自然休養村  
〈つみくさ〉  
事務局：引佐郡引佐町  
東久留女木 472-111  
TEL053-545-0381

## 校長訓話

元気はいいことだ

第三十六回校長 水村 春江

元気はいいことだ  
お父さんを元気にする  
お母さんを元気にする  
子どもを元気にする  
おじいちゃんを元気にする  
おばあちゃんを元気にする  
だってお父さんもお母さんも  
元はみんな子どもだったんですよ  
そうやって人類は命の絆をつないできた  
お父さんお母さんがここにこしている  
子どもは嬉しい  
でも近ごろみんなの様子がへんだ  
何か忙しそうだけれど元気がない  
かつては元気な子どもの感性が巷に溢れ  
夕餉の膳には三代の笑顔がそろっていた。  
ふと思う  
せつかく生まれてきたのだから

大人になったら好きな異性を見つけて  
家庭を築くのが自然

愛し合えば可愛い子どもが授かるだろう  
その時母親の血液は白い母乳となって  
子どもの命を育む

その時から父親は命がけで家族を守る  
やがて家族たちは群れとなって助け合い  
社会を築いていったのだろう  
チンパンジーだって人だって  
原初は母系家族だったのだ

家族を元気にする  
日本を元気にする

子どもは宝 みんなの宝 国の宝  
「・・・しないかもしれない症候群」の  
女性たちが増えているらしい

結婚し 子どもを産み育て 仕事を続け  
その困難さに戸惑っているのだろうか  
かくして男女パラサイトシングル増殖中

だったら言ってあげよう  
お嫁さんの実家の近くに住んでいいのよ

安心して結婚して 子どもを産みなさい  
保育所も育児書も大切だけど年よりの力  
も捨てたもんじゃないうわ 経験者だもの  
「嫁姑戦争」なんて死語にしまししょう  
家庭を元気にする  
日本を元気にする  
だつて子どもはみんなの宝ですもの  
皆で仲良く育ててゆけばいい  
子どもは国の宝なのだから  
血縁の孫がいなくてもパーチャルじい  
ちゃんやばあちゃんになってパーチャル  
孫と公園のお砂場で一緒に遊ぼう  
遊んで貰おう  
そしていっぱい笑って元気を貰おう  
えっ？男の方？どうぞ頑張つて社会のお  
役に立つ立派なお仕事をしてください  
だつてそれが人類の未来につながる  
ゆくんですから・・・。



## めだかの学校伝言板

——第 36 回めだかの学校を開校するので出席しなさい。  
校長／水村春江  
教頭／市川祐一  
用務員／伊藤静男  
給食係／山内勝巳・松本芳廣・杉本 浩  
西原 弘・宮近 勝・岡田清多良  
山内ひさ子・伊藤公子・大橋町代  
佐藤律子・渡辺三ツ子（チーフ）  
〈学舎〉静岡引佐郡引佐町奥山 1737-286  
いなさ自然休養村「つみくさ」内  
TEL 053-543-0321（開校日のみ）

開校日／平成 14 年 6 月 7 日（金）6:20PM より  
受付／内山ゆきゑ・平松万起子・本間 稔・藤森照明  
徳増兼弘（後見人）  
〈時間割〉・第一時限（20 分）  
社会科「主人公は 3 年寝太郎？」  
中嶋 豊 先生  
・第二時限（20 分）  
家庭科「伊勢の姫君の元気な御膳は？」  
石川 順子 先生  
・第三時限（20 分）  
保健体育「おもしろ人の筋力トレーニング？」  
山根 圭二 先生  
・給食の時間 9 期最後の給食～おいしそう！～

# めだかの動き

## 泳ぎ回るめだかたち

■ラベンダー狩りへお出かけ下さい  
 とうとう地球温暖化現象が現れたわけ  
 ではないでしょうか、これまで聞いたこ  
 ともないほど早い桜の開花とともに、私  
 達の「なんでもあり農園」のシーズンが  
 始まりました。昨年からお願ひしていた  
 隣の畑も利用できるようになって、おた  
 よそ五千平方メートル、千五百坪となり  
 ました。最初に苗を植えてから丸五年が  
 過ぎたサトウキビは、生育が悪くなった  
 ので、約半分の千平方メートルを更新し  
 ました。苗にするサトウキビは昨年の秋  
 に大きな穴を掘って埋めておいて三月初  
 めに掘り出し、三〇センチくらいの棒に  
 切って拡張したほうの畑に植えました。  
 約千五百本の苗は、四月中旬現在、芽は  
 ほとんど出ていませんが砂の中で根つこ  
 は順調に伸びていて、新しい株の成長が  
 楽しみです。

古い株は、「はだしの小作人」が冬中に  
 こつこつと鎌でこぎました。千株近く  
 と根気には驚くばかりです。その古いサ  
 トウキビの跡には、ナスやトマトなどの  
 夏野菜にサツマイモ、巨大カボチャやい  
 ろいろの形のヒョウタンも作る予定です。  
 芋掘り大会は開くかどうかは出来具合次  
 第ですが、イベントがなくても、時期が  
 きたら自由に野菜取りや芋掘りにお出か  
 けください。また、二月に植えたジャガ  
 イも順調に育っており、今度のめだか  
 の学校の給食は肉じゃが」と、裸足のめだ  
 作人は手入れに余念がありません。この  
 他、今年から竹炭作りにも挑戦していま  
 す。二〇リットルの丸いオイル缶を使っ  
 た焼き方をインターネットで見つけて、  
 実際に畑でやってみると、そこそこの竹  
 炭ができました。興味ある方は是非お  
 問い合わせ下さい。意外と簡単に出来  
 ますので、一緒に焼きましょう。  
 ■そして、私の大好きなラベンダーの栽  
 培も、今年に大幅に増やそうと考えて  
 います。三年前に挿し木で作った苗が五  
 本ほど余ったので、畑の南側の水路沿い

に植えてみました。ラベンダーは暑さに  
 弱くて平地が育て風通しよいですが、  
 松の木の陰があつて風通しよいなどの  
 条件が揃っていたのか、海岸沿いの砂畑  
 でも大きな株に育つて可憐な花とさわや  
 かな香りを楽しむことができました。  
 ■浜名湖花博「開催まであと二年を切  
 り、入場券の前売りも一〇月から始まり  
 ます。当農園でも、北海道富良野のよう  
 な広大な風景には遠く及ばなくとも、ミ  
 ニラベンダー畑をめざして順次拡大した  
 いて思っています。最初に植えたばかりの  
 苗まで、今年には五月中旬から花が咲き  
 始めるのではないかと予想しています。  
 ■小さな株は、一本一本はさみで、大きな  
 株は鎌でまとめて刈り取って行って下さ  
 い。もちろん無料です。摘み取った花は、  
 花瓶に挿したり陰干しにしてドライフラ  
 ワーにしたり、「風紋館」の店長さんが教  
 えてくれますが花を編んで、「ラベンダー  
 ステイック」にするなど、花と香りを楽  
 しんでください。また、たくさんは無理  
 ですが苗もあげます。花の好きなメダカ  
 のお越しをお待ちしております。  
 (なんでもあり農園小作人の松)

### ■「梅栗植えてハワイへ行こう」の 大山町の森ご夫妻、静岡県大須賀町 に来るの巻

この3月に由布院里帰りをした。かつ  
 ての自分の部下であつた青年がこの4月  
 から北海道ニセコ町に人事交流で出向す  
 る。彼を壮行するためである。せっかく  
 ここまで来たのだからと、由布院から1  
 時間ほど福岡県と県境にある大山町の友  
 人を訪ねることにした。年賀状に大山町  
 農協を定年で辞め、今鯖寿司づくりに  
 中になつていてとあつた。氏とは平成9  
 年度に熊本県小国町で始まつた九州ツ  
 リズム大学で一期生として席を並べたと  
 きからのお付き合いである。と言つても  
 すでに4年の歳月が流れてしまひ久しぶ  
 りの再会となつた。なぜ山間の大山町で  
 鯖寿司なのか、無塩(ぶえん)と大山の人  
 は言う)の魚つまり生魚をかつて食べる  
 ことができたのか、鯖を酢でしめ、酢  
 飯に載せた鯖寿司が好んで食べられてい  
 た。鯖を背割した一匹丸ごとの姿寿司で  
 ある。これを地域限定で商品化したであ

る、もつともご夫婦で作るには量に限り  
 があるが、「この花ガール」と  
 名付けられた農協経営の町の農産物や加  
 工品の直販店で、人気の商品になった。  
 ちなみに今ここに開店したオーガニック  
 レストランが爆発的ヒットしている。席  
 につくまで1時間ほど待つことになつ  
 た。村の農産物を村のご婦人の方で作る手  
 料理がバイキング方式で食べることがで  
 きる。お値段一〇〇〇円である。  
 ■ここ大山町は大分県一村一品運動の原  
 点の村である。今の大山町をつくつた故  
 矢幡村は著書「農協は地域に何がで  
 きるか」大分県大山町農協の実践」で  
 次のように書いている。\* \* \*昭和29年  
 私は仕方なしに農協組合長になり、翌年  
 からは村長も兼ねることにしました。大  
 山村の大部分の農家は、目を覆うほど  
 の貧しさにあえいでいました。何とかし  
 てこの現状から抜け出さねばならない。  
 私は、農業を企業として見直すことから  
 出発し、農業を企業として見直すこと  
 討議を重ね、国内外の生産地を見てある  
 いた結果、大山村は水田も牛も捨てるべ  
 きだという結論を出しました。梅と栗を  
 植えよう。村の大半の世帯を梅栗運動に  
 引き込むには、周の準備と、金銭的  
 引当が必要でした。\* \* \*この農家の手  
 経済的浮上を狙う合言葉が「梅栗植えて  
 ハワイへ行こう」である。そう「トリス  
 を飲んでハワイに行こう」の頃である。

ハワイ旅行が家一軒の値段に相当する  
 50万円もかかる時のこと。この農協で矢  
 幡氏の片腕として働いてきたのが、今回  
 の旅で訪ねた森克男氏なのである。氏は  
 梅、すもも、長男がえのき首を生産して  
 いる。森さんが言った「娘婿が大山町に  
 来て農業をやりたいと言っている、つい  
 ては観光イチゴ農園をやらせてみたいと  
 考えている。」それなら、静岡県大須賀町  
 であかずきんちゃんと言付けた観光イチ  
 ゴ農園をやっている人赤堀さんと提案し  
 た。見に来た二週間後にご夫妻で来られ  
 た。

森さんはもちろん鯖寿司を持参し  
 ていた。松本メダカの蕎麦に、森さんの  
 鯖寿司をそそぐ大分焼酎の蕎麦湯割り、デ  
 ザートにはあかずきんちゃんの大分ア  
 イベリを頂戴し、時折窓越しに通るね  
 り(山車のこと)を見ながら皆で至福の  
 時を過ごした。  
 ■その後、役場職員であり風紋館長の深  
 谷さんの案内でそのイチゴ農園を訪ねた。  
 イチゴのバック詰めで忙しい時にも関わ  
 らず、皆さんの屈託のないお相手振りが  
 よかつた。また、最新の栽培法である高  
 床ベッドで水耕栽培の実物を見学するこ  
 とができ、大山町でのイチゴ栽培のイ  
 メージが膨らんだようだ。  
 ■そして5月にはまた大山町に仲間を  
 誘って行くことにした。今度は先の八幡  
 治美さんの志を継いだ息子さんで前大山  
 町長の矢幡欣治さん宅に集い、むらづく  
 り談義に花咲かずつもりである。行く  
 先々で皆の情に湧き感動し、気絶するほ  
 ど楽しい時を過ごすときに人生の喜びを  
 感じるのである。  
 (溝口 久メダカ)

■引佐町洪川で「洪川つつじ祭り」  
 5月11日から開催  
 全国で伊勢など三ヶ所所どころ植生して  
 いないという県指定天然記念物「洪川つ  
 つじ」の「洪川つつじ祭り」が5月11日  
 から26日まで引佐町洪川の洪川つつじ  
 公園および周辺で開かれる。期間中、「流  
 しそうめん」「五平もち」「洪川新茶サ  
 ビス」「つつじの苗」の販売など地域住民  
 によつて行われる。18日にはオーブンイ  
 ベントとして「いなざフラワープリンセ  
 スの発表会」「ブラジル民俗舞踏カポエ  
 ラ」「祝い投げ餅」など。26日には「て  
 んてんごしじぶ川」で、「バイクトライア  
 ル」などがある。毎年、大渋滞の大にぎ  
 わいである。  
 ■問い合わせは、引佐町観光協会  
 053-542-1113

■東栄町に天然療養泉「とうえい温  
 泉」OPEN  
 愛知県東栄町大字下田字花田に天然  
 療養泉「とうえい温泉」が4月19日OPEN  
 しました。全国でも数少ない「療養泉」  
 で、神経痛、リウマチ、四十肩、五十肩、

腰痛、冷え性、慢性婦人病、胆石などな  
どたくさん入浴効果があり、野天風呂、  
福祉風呂ジェットバス、日替り湯、樽風  
呂の温浴棟がある。営業時間は10時  
〜21時まで、水曜定休、大人500円、  
小人300円  
問い合わせ 053677・70268  
※場所は、東栄町役場を通りすぎ故平本  
尚久さんの「がらんどろ」前を通りすぎ  
て直ぐ。  
(本島慎一郎メダカ)

■三遠南信ひとネットワーク「ゆめ  
まる」の臨時総会および進歩路夢  
三遠南信ひとネットワークゆめまる  
(代表世話人・本島慎一郎メダカ)では、  
5月18・19の両日、豊岡村の豊岡荘で  
「臨時総会および全員パネラー」大いに  
語ろう進歩路夢」を行なう。(会員で会  
費納入者のみ対象)  
問い合わせは、天竜市二俣町二俣 本  
島慎一郎 0539・25・2792

■「めだかの学校」言い出しつづへの  
一人東京深大寺で闘病生活を送つ  
ていた武井深大寺メダカから便りとい  
緒に、毎日深大寺で開かれていた一  
語会、有志の杖言葉が送られて  
読まされた。武井深大寺メダカの箇所全  
文をそのまま掲載します。  
(鈴木正士メダカ)

もし、今の病気が治つたらやりたいこ  
とをすべて今私が考えている事を、し点  
で消す事が出来ればOKという私自身の  
チェックリストがあつて、仕事をすする前  
に必ずチェックする事がありました。  
先日青森県でお世話になつていて病  
院の先生と、毎日「1日1信」をしてい  
る友人から与えられた宿題「もし、もし  
私の病気が治つたらやりたいこと」と言  
う事を、10選という形で答える事に挑ん  
だ事がありました。  
□「脳梗塞、うつ病からの脱出」の出版。  
□私はどう生きたかを綴る自分史の製作。  
□過疎地及び離島におけるEM活用の堆  
肥作りと有機農業の実践。  
□ブチヴェール(野菜の新種)の栽培と  
青汁、そーめん等健康食品づくり。  
□元気な高齢者を創るためのアソビリ

テーション(遊びと運動の造語)の巡  
回活動。  
□過疎の町でのペンション経営。  
□ボランティア協会など福祉活動をして  
いる団体の職員。  
□ふるさと産品のアンテナショップ(常  
設)の運営。  
□子供劇団「テアトロピッコロ」の創設  
及び公演活動。  
□農業体験の運動とグリーンツーリズム  
(農作業体験の旅)の展開。  
一つ一つの口の中には何故という理由  
や実践の方法があるのですが、今回はそ  
こまで書く欄がありませんので省きます。  
健康であつた時には、努力はさえずすれ  
ば何でもなかつた事が、今では夢の様  
事になつてしまいました。しかし、考え  
をかえたり、言い訳をしつたりせず、何と  
か一つでも実践できるように希望を持つて  
生きてみようと思ひます。  
毎日、深大寺読誦会に参加させていた  
だき皆様に励まされながら元気をいただ  
いているところです。本堂に有難う御座  
います。  
又お経を唱えながら、以前の様に健康  
にして下さいというお願いを元三大師に  
祈つています。

◇人・ひと・ヒト・..だより  
○伊藤茂男メダカ。学舎である「つみく  
さ」の支配人を三月末で退職。こころう  
さまでした。四月からは地元渋川の「て  
んでんくーしは川」の組合長に。(なお、  
「つみくさ」は奥山高原社長の佐藤英年  
さんが引継ぎました。)

○川島安一メダカ。県お茶振興室長から  
中遠農林事務所長に。マラソンもちろん  
やっています。体力が勝負ですから。  
○服部守孝メダカ。コンサルタント会社  
フジヤマ豊橋営業所から名古屋営業所へ。  
名古屋は豊橋と違ってキビシイデス。六  
月には森町一宮に新居完成予定。こちら  
はウレシイデス。ハイ。  
○松本芳廣メダカ。静岡県の総合計画を  
つかさどる企画部総合計画室技監へ。  
根っからマジメな人。蕎麦名人を自称し

て遊んでいるが、見る人は見ている。  
○榊原淑友メダカ。三遠中サービスの常  
務から遠州中央森町支店長へ。中国の  
天然結晶塩に魅せられて自称塩博士。い  
や笹百合博士でもありません。榊原邸のサ  
サユリは六月です。  
○大谷香代子メダカ。大根と玉ネギは私  
にマカセテと。ご主人とセッセッセ。  
甘い玉ネギと大根。キメテは周りの林の  
落葉樹。肥えた土は木の葉っぱ。伊藤英  
雄メダカの言。  
○こちらは山下愛子メダカ。保険の外交  
のかたわら野菜づくり。肥料は牛フン。  
無農薬。虫も負けてしまふほどの元気さ。  
小さな花瓶に花一輪。「いいね」とご主  
人。うれしい。..  
○鈴木正士メダカ。豊岡村保健課長から  
税務課長へ。この厳しい時代、滞納者も  
多し(っ)。でも正士課長の顔見れば無理  
しても納めてしまひそう。  
○関京子メダカ。二月にスリップ事故で  
じん帯損傷。退院したと思つたら今度は  
ご主人福盛さんがその時の後遺症で入院。  
十日ほどで退院したが、今は充電期間  
中ですヨ。ゆっくり休んでネ。  
○名和紅・理代子夫婦メダカ。四月に仲  
睦まじく2人展。陶芸と童画。二人の人  
柄よろしくホツとする2人展でした。  
○二人展といえば鈴木真弓メダカ。4月  
10日から15日まで、遠鉄百貨店ギヤラ  
リー口で。友人の瀬川明子さんとマク  
ラメと創作人形「一人展」。シルクロード  
の世界を演出。入場者2000人以上と  
大喜び。よかつたネ。  
○渡辺三ツ子メダカ。二人目のお孫さん  
が生まれて、未熟児だったのでマゴマゴし  
ながら大忙し。それにしても相変わらず  
元気がいっぱい。シモン芋のおかげ?  
○松本泰榮メダカ。天井に黒石白石並ん  
で、夜も眠れず。服部守孝メダカに負け

た悔しさに心起一発：したのはいいけれ  
ど。暮つて：うむ難しい。  
○清水瑛・耳塚信博・本島慎一郎の3メ  
ダカ。静岡県北遠地域の共同プロジェクト  
「民の暮らしをくろスロ」ロード市  
「MAX2002」を終えてホツと。寺田悦子  
メダカと溝口久メダカが参加。佐原剛メ  
ダカ、物産市にウインナー持つて参  
加。：売れました！  
○照井泰子メダカ。三遠南信情報誌Am  
i6号を刊行。多くの人に支えながら発  
行できました。感謝。内容益々充実。座  
右にいかが。最高ヨ！  
○4月から5月にかけて山野はお茶の季  
節。市川祐一メダカ、鈴木計芳メダカ、  
鈴木正士メダカ。猫の手も借りたほど  
の大忙し。エツ？猫の手も借りたの？正  
士さん。役職は変わってもバックアップ  
するゾーとは川島安一メダカ。私だつて  
お茶やつているわヨ。誰？今度教えて、  
次に書くから。

○落合啓二メダカ。フジヤマの課長なが  
ら江戸園芸に詳しく、2004年の国際  
園芸博にからまつて講師などで多忙。最  
高の生きがいです。  
○玉置洋一メダカと同じ南信濃村の川手  
志保さん。南信濃村観光協会に勤務。  
「ゆめまる」でお世話に。メダカの学校  
に入会したいのですが。：。前回はインフ  
ルエンザにかかつて。：。若い女性。ど  
うぞどうぞ、大歓迎です。：とは。  
○原邦司メダカ。電気工学会社松川電気  
の営業広報室長、スタッフ7人いただいて、  
営業から社員教育まで。意気軒昂デ  
ス。今年の内面を充実するーと言いな  
がら「真のリーダーとは。一流でなけれ  
ば。：。誰か助けてー」とパラメダカ

もつともつとたくさんの人を伝えたい。  
でも紙面の都合で今回はこの辺で。ごめ  
んね。  
(パラメダカ)

☆敗戦を生き抜いた知恵―『復刻 昭和二十年八月 食生活指針』―昭和二十年八月 静岡県作成―復刻本発刊

今村純子メダカが静岡新聞に写真入りで出ている。記事の内容を読んでみるうちに、うーん、これは凄い。昭和二十年八月十五日静岡県から出された『食生活の指針』私の五歳の時のことだ。今村純子メダカから本をいただいて読む。私たちが終戦後むさぼるように食べた食料がたくさん掲載されている。この復刻本の原書は、今村純子メダカが父上の書斎を整理して見つけた。一度原書を持っていったが、「メモ程度のものだ」と蹴られてしまった。陽の目を見たのは、「のらり会」というボランティアグループのメンバーがこの本のすばらしい価値をみつけて、農文協の協力のもと出版にこぎつけたためである。「のらり会」は、農山漁村の中で遊びや体験を通して、自然の持つ教育力を子どもたちに伝えて行くこととする会である。もちろん今村純子メダカもそのメンバーである。この本で取り上げられている食料や調理法、植生地など：私の人生の転機となった、『野草料理』、その原点をみているようであった。本書の中の一つだが、「たんぼぼ（蒲公英）。山間の路傍等に広く繁茂する宿根草で：「食用部」葉、根。「食用法」苦味の強いのが特徴。その苦味を適当に生かすのが大切。葉は充分茹でて水晒し、こま浸し、芥子と和え、ソース掛け、煮しめ等。生ものを油炒め。根はさきがきして充分油炒めして金平風に：健胃の薬効あり。

問い合わせは、(社)農山漁村文化協会・東京03・3585・1141又は今村純子メダカ0538・32・7787

◆事務局より

今年の気象庁の桜の開花予報は惨敗だったとのことですね。桜の開花が各地とも一週間から二週間早かった。例年通りの日程で予定した各地の桜まつりも「桜が散ったあとだった」というところもあつたようです。これも地球温暖化の影響でしょうか。それにしても4月に入ってスッキリした日が少なく、身体の調子が今いちです。病気をやっつた人や病気が斗っている人にとつてはつらい日々です。そこはせめて気力で「元気を出そう!」と、36回のテーマは「元氣はいいことですね!」にしました。先生も一時限目は中嶋豊メダカ、勤務先である役場に毎日自転車を通い、地域にあつては「おい、おまえら元氣がないぞ!元氣でいこうぜ!」と車座の会を主宰している。二時限目は伊勢外宮の石川順子姫君メダカ。二月に伊勢市で開催された「三遠伊勢連携と交流シンポジウム」でパネリストだった榊原幸雄メダカが「親類づきあいをしよう」と呼びかけたところ、「ハイ!」と答えたのが元氣いっぱいなの姫君でした。そんなところが授業内容も「伊勢の姫君の元氣な御膳は?」です。三時限目は「これまた名古屋で演劇ダンス、ストレッチ体操など」とおもしろい人生生きライフの山根圭二メダカ。36回はこの3人の先生と一緒に元氣いっぱいになりますよ。

「めだかの学校」も9月で10年目を迎えます  
10期のはじまる9月は「めだかの学校」開校10年目にあたります。武井紀夫、平山豊、小野田全宏、伊藤茂男、榊原幸雄の5人の言い出しっぺによって開校されて10年。「10年ひと昔」とよく言われますが、月日の経つのは早いものです。本当にもう10年経つたのかと思えます。すっかりとした「建学の精神」もあり、三ヶ月に一度開校する学校。校長は37代目となりま。2回の特別教室を入れると、39人のメダカ生が校長となつています。教頭も用務員も同じです。授業を受け持った教師陣も100人を遠くに超えています。それだけ個性を持った人の集団であると言えます。生徒数も開校時の一回目は60人、二回目は80人、三回目は100人、四回目は120人と増え、二期目以降は継続手続を取らない生徒は、自動退学にするなどしながらも延べ500人は越しているでしょうか?一度も登校していない生徒も含めて、現在180人を数えます。異人種グループよろしく職種も肩書きも年齢も雑多です。地域は秋田、埼玉、東京、静岡、愛知、長野、岐阜、三重、和歌山、福岡、シンガポールと広範囲です。

「めだかの学校」の特徴は、地域や生徒の数ではなく、「めだかの学校」を求心力として多くのメダカ達が交流や連携を通じて地域や各分野においてリーダー的役割を果たしていることでしょうか。  
◆あなたの思いやtakeを  
「〇〇文字にまとめて提出」  
なにはともあれ、「10周年」を記念して、「めだかの学校」でしかできないような、質高い面白くて楽しい記念行事を行いたいと思つています。生徒ひとりひとりの「めだかの学校」に寄せる思いやtakeを「〇〇文字」にまとめて全員提出して下さいようお願いいたします。「必ずすよ」とは水村春江校長の言です。同封のハガキに出欠席も書いて、5月25日(土)までに事務局あて郵送して下さい。  
◆お詫びとお礼とお知らせ  
36号も発行日より遅れてしまいました。た。ごめんなさい。今回も溝口久、石野省三、本島慎一郎、鈴木正士、照井泰子のメダカさん、エヌビーネットの伊藤さんには大変お世話になりました。お礼申し上げます。なお、「めだか春秋」は、今回はお休みさせていただきます。次回をお楽しみに。  
◆10期(平成14年9月1日)15年8月31日まで)の継続手続を始めています。同封の申込書に必要事項を記入し、千円を添えて事務局まで提出して下さい。36回の開校日6月7日より受付です。締切りは8月25日です。その後随時受付ですが、手続きしない生徒は、自動退学となりますのでご注意ください。(事務局榊原幸雄メダカ)  
◆各地のたよりの掲載について  
各地でいろいろ催事があると思えます。個人情報でも結構です。期日以外でも、場所、日に合わせてまとめます。ハガキで封書でFAXでメールはまだやっていませんので、しばらくお待ちを!。次回発行日は8月1日です。7月20日までに事務局(FAX053・545・0381)、又は浜松市村柳町浜名湖国際頭脳センター315、エヌビーネット照井泰子あてEメール/nb@bnet.co.jp (TEL053・484・4133)



めだかの学校事務局  
〒431-2531  
静岡県引佐郡引佐町東久留女木472-1111  
「リンデンバウム」内 榊原幸雄  
※「つみくさ」は学舎のみです。すべての連絡・お問い合わせは「事務局」にお願いいたします。